

がん保険・医療保険の最新トレンドと選び方のポイント

医療技術の進歩により、がん治療は入院中心から通院中心へと移行しています。抗がん剤治療や放射線治療を外来で受けるケースが増え、従来の入院給付金だけでは備えが不十分になる場合があります。

また、先進医療や分子標的薬など公的保険の対象外となる治療は高額になるため、必要な保障を選ぶことが重要です。

対策として、診断時にまとまった給付金を受け取れる一時金タイプのがん保険は、治療費や生活費に柔軟に使えるため有効です。

さらに、高額な技術料に備える先進医療特約や、再発・長期治療に対応できる複数回給付タイプも注目されています。

選ぶ際は、

- ①医療事情に合った保障か
- ②診断一時金の有無と金額
- ③通院・再発時の保障内容
- ④保険料とのバランスを確認

することが大切です。過剰保障は不要ですが、リスクに合った備えが安心につながります。詳しいシミュレーションは当代理店へご相談ください。

令和8年1月26日